

令和3年度第6回理事会議事録

日時：令和4年1月15日（土）13時30分～15時31分

場所：鹿児島県看護研修会館2階研修室

I 理事会の構成

理事：17名 監事：2名 合計19名

II 理事の出欠確認

出席理事 15名

会長 田畠千穂子（代表理事）

副会長 中重敬子

専務理事 今村 恵

常任理事 林 恵子

職能理事 小田房子（リモート出席）、鴻山勝美、谷川智子、柳田千草（リモート出席）

准看護師理事 志水恵美子

地区理事 福島寿美代、堂園千代子（リモート出席）、久保田祥子（リモート出席）

溝下晴美、寺師真理子、神園瑞代（リモート出席）

欠席理事 2名

副会長 丸目まり子

地区理事 正岡ゆかり

III 監事の出欠確認

出席監事 2名

永山広子、岩重洋一

IV 会長挨拶（略）

V 定足数の確認

新型コロナウイルス感染症拡大状況等から、今回はWeb会議システムを用いた。適時的確な意見交換がお互いにできる仕組みでの開催方針のもと、5名の理事がリモート出席となった。

定款第40条に基づく議決に加わることができる理事16名（会長＝議長は除く）のうち14名の出席は、議決に加わることができるもの16名の過半数8名以上であることから本会は有効に成立することを確認した。

以後、会長（定款第39条）が本理事会の議長となり、以下のとおり進行した。

VI 協議事項

1 基本方針に関する事項

1) 令和3年度鹿児島県看護協会事業検討会を踏まえての今後の取組について

専務理事は、事業検討会における協議事項及び今後の対応・取り組みについて主に次のように説明した。

4職能委員長に職能別的情報を提供するので会員加入促進の取り組みの参考にして欲しい。オンデマンドや研修体制については、研修内容によりZoom・対面・ハイブリットに振り分けるなどしている。

また、看護職能Ⅱの在宅領域のBCP策定は、看護職能Ⅱの追加研修として企画し、マナブルの登録などに関する不具合等については、今後とも運営業者と協議し改善する。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 令和4年度教育研修計画（案）について

常任理事は、教育事業の基本的な考え方から主に次のように説明した。

オンライン研修の充実では、新規で特定行為看護師の役割を設ける。認定管理者研修はファースト・サードを行うが、サードの計画書については3月に配布予定である。県の委託事業に係る研修については継続予定、研修支援制度に関する取り組みとしては県内の医療施設と看護師養成所へアンケート調査を行い評価したい。

また、教育冊子の見直しと整理に関しては、「研修申込様式」をホームページにアップする予定である。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2 事業推進に関する事項

1) 「性教育推進事業支援委員会」の名称変更及び、「学会委員会」の名称と機能変更並びに鹿児島県保健看護研究学会の名称変更について

常任理事は、次のように説明した。

文部科学省の専門部会で、性教育の表現が整理され、性に関する指導に統一された。県教育庁からは「未だに標記の統一が周知されていない」との現状報告もあったことから、「性教育推進事業支援委員会」を「性に関する指導推進委員会」に、また、「学会委員会」では、

学会の企画準備も含め委員の負担が大きいことから、他県と同様に「学会運営委員」と「査読担当」を切り離して機能分担化するために「学会運営委員会」と名称は変更し、査読に関しては委員会設置としない。

そして、「鹿児島県保健看護研究学会」については、県と共に催を経て実施してきたが、更に看護研究支援や学会企画運営推進のために「鹿児島県看護研究学会」に名称変更したい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3 管理的事項

1) 令和4年度改選役員・推薦委員並びに2023年度代議員及び予備代議員の推薦状況について
専務理事は、現時点の推薦状況を説明し、今後とも推薦に関する協力をお願いした。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 職員の雇用について

会長は、事務局長が説明することを出席理事に承認を得た後、事務局長は次のように説明した。

公益法人の認定を受けてから10年が経過し、業務も多岐にわたり複雑化し、時代のニーズに合った体制や業務のスリム化などの見直しが必要なことから、来年度から事務局長が兼務している総務部長を単独配置としたい。

また、総務部正職員（経理担当）の依頼退職に伴う補充と、訪問看護ステーションかごしまについては、訪問件数も増え、主に小児の重度の障がいの方々への時間外・夜間・早朝、祝祭日の訪問が多く、職員の過重な負担が増えていることから、健康管理のためにも夜間・早朝勤務が可能な人材のパートを2名補充したい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

4 会員支援について

1) 令和4年度鹿児島県看護協会名誉会員候補者について

専務理事は、名誉会員候補者の考え方について次のように説明した。

今後は役員歴がなくても過去10年に渡り、最終の会員時の年齢が75歳以上で、表彰年度に80歳以上の者を表彰したいと提案した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 令和4年度鹿児島県看護業務功労者知事表彰候補者の推薦について

専務理事は、県の推薦基準及び本協会の推薦条件に基づき、4名を推薦したいと提案した。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3) 令和4年度鹿児島県看護協会長表彰者の推薦について

専務理事は、本協会会長表彰推薦の考え方について説明し、2月までの推薦とした。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

VII 報告事項

1 事業推進に関する事項

- 1) 教育事業について
- 2) 看護職員就業相談事業について
- 3) 看護師養成施設等における実習補完事業について
- 4) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務について
- 5) 障害者支援福祉施設等の感染防止のための相談・支援等事業について
- 6) 訪問看護供給体制確保推進事業について
- 7) 複雑かつ多重課題解決に向けた事例検討会について
- 8) 鹿児島看護基礎教育を考える会について
- 9) かごしま SDGs パートナー推進制度登録について
- 10) 看護師特定行為シンポジウムについて
- 11) 保健師教育における大学院教育への意見書及び鹿児島国際大学看護学部の新設について
- 12) 新型コロナウイルス感染症対策関連について

2 管理的事項

- 1) 第5回理事会議事録について

3 会員支援関係

- 1) 令和3年度鹿児島県看護協会会員数及び令和4年度会員継続申し込み状況について

4 その他（理事会当日）

- (1) 日本看護協会理事会報告（口頭報告） (2) 職能委員会報告（書面報告）
- (3) 地区報告（書面報告） (4) 委員会報告（書面報告）
- (5) 地区理事長情報交換会報告（口頭報告） (6) 他団体会議報告（書面及び一部口頭報告）

(7) 出張報告（県外）（書面報告）

以上、議長は協議事項が全てを終了した旨を告げ、15時31分に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、次のとおり署名する。

令和4年1月15日

公益社団法人 鹿児島県看護協会

代表理事（会長） 内田 千恵子

監 事 永山 元子

監 事 翁 重洋一